



## 教授の呟き

### 第8回

# 微妙に、ちよつとだけ、かぶる話

東京商船大学教授

苦瀬博仁

#### ●●●言葉づかいが不得手に

人の個性は、世代差や時代差よりも個人差が大きいはずである。ましてちょっと前まで若かった者が、「最近の若い者は…」などと決めつけることは、あまり好ましいとは思わない。しかしそれを承知で、あえて言いたいことがある。言葉づかいである。

昔はよそゆき言葉があって、それなりに普段とは使い分けていたようだが、最近の若者の語彙（ごい）は極端に少なくなり、世代や時代を超えて通じるような言葉づかいが不得手になっているように思う。

#### ●●●あいまいな表現への困惑

「微妙に、ちよつとだけ、かぶる話」とは、帽子の話ではない。

学生に事の是非を問うと、「微妙ですね」とあいまいに応じるので、「イエスかノーか」と迫ると「分かりません」と答える。文献を読んできたかと質すと、「ちよつとだけ」と答えるので、「一読したのか、最初の何ページかを読んだのか、それとも読まなかったのか」と問いつめると、「読んでいません」となる。

「かぶる」とは、重複するという意味で使われているようで、「二つの文献は微妙にかぶっていたので、ちよつとだけ読みました」というような言い方になる。

学生同士の会話になると、もう少

し面白い。以前の「ホントー」が「ウッソー」になり、今は「マジ」である。仲間内の会話は、事実に対する軽い確認から驚きを経て、精神的な態度への疑いに深化しているのだから、あいまいさとは逆行している。

会話よりもさらに困るのは、文章である。あいまいな表現や省略語に慣れ親しんでいると、的確に考えたり書くことから遠のいてしまう。専門用語を正確に使い、主語と述語が正しく書かれていれば、おおよその内容は理解できるのだが、読みやすいレポートに出会うことは少ない。英会話と英作文が異なるように、日本語会話ができるからといって、日本語作文が上手とは限らない。このため、「留学生の文章が、最も分かりやすい」という冗談が出ることさえある。

#### ●●●新しい用語への戸惑い

その昔、「システムを、システムの、システム化するとは何か」というような内容のエッセイを書いたことがある。そのときの意図は、「舶来のカタカナ言葉を、吟味せずに自分勝手な雰囲気 で用いると、何を言いたいのか理解できなくなる」というものだった。

流通やロジスティクスの世界でも、多くの言葉が輸入されたり生まれている。他の分野に比較しても、カタカナやアルファベットが多いのではないだろうか。ロジスティクス

もそうだし、JIT（ジャストインタイム）やPOS（販売時点情報管理）やTQC（総合的品質管理）はカタカナにすらなっていない。一般人には理解しづらいだろう。

QR（クイックレスポンス）とECR（食品産業におけるQR）の違いは分からずじまだったし、CSは顧客満足と顧客サービスで混乱した。3PLから4PLと数も増えている。不勉強には恥じ入るが、難しい言葉には手こずってしまう。

その方面に明るい友人に確かめたところ、それぞれの言葉には定義があり、少しずつ意味と範囲が異なっているとの回答である。そして概念が進化することで旧来の言葉では対応できなくなり、新たな用語を使わざるを得ないのだそうである。しかし、定義が定着しないうちに言葉が使われ始めると、理解も意志の疎通も不十分になるのではないかと心配になってしまう。

### 用語の確立に向けて

流通やロジスティクスに関する多くの言葉も、定義や意味が整理され、一時的なハヤリ言葉や特殊な専門用語としてではなく、息の長い確立した用語として一般にも普及してほしい。なぜなら、このことが流通やロジスティクスの発展にもつながると思うからである。

最近の若者の表現を借りるならば、流通やロジスティクス分野において、「微妙に、ちょっとだけ、か

ぶった言葉が、多いのではないでしょうか」と、言ってみたいのである。

ここまで書き進んで、ふと気がついた。「今回の話は『言葉の意味』という点で、連載第1回目の『二つ

の物流』と、かぶってますね」と混ぜ返されるかもしれない。

そのときには、微妙にちょっとだけ、シャッポを脱ごうと思う。☺



東京商船大学 流通情報工学課程  
流通管理工学講座 教授  
**苦瀬博仁**

(くせ ひろひと) 1951年東京生まれ。73年早稲田大学理工学部土木工学科卒業。75年、同大学大学院修士課程修了。81年、同大学大学院博士課程修了後、日本国土開発に入社。86年から東京商船大学助教授、94年より同大学教授。94年から95年の1年間、フィリピン大学客員教授を務める。主な著書に「付加価値創造のロジスティクス」(税務経理協会)、「都市交通一都市交通計画・都市物流計画」(丸善)、「マニラ・エンジョイ・トラブル」(論創社)、「明日の都市交通政策」(成文堂)

